

第2次日野市下水道プラン(後期計画)パブリックコメント
(意見の概要と市の考え方、計画への反映方針)

【パブリックコメント】

実施期間:令和8年(2026年)2月2日(月曜)~令和8年(2026年)3月3日(火曜)
周知方法:市ホームページ、広報ひの、地域共創PF
閲覧場所:七生支所、豊田駅連絡所、市内図書館、市政図書室、下水道課窓口
※その他、「日野市パブリックコメント手続実施要綱」により実施

パブリックコメント募集結果
意見等件数28件 提案者数1人

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミス及び個人が特定される恐れのある表現は修正しています。)	「市の考え方」	プランへの反映について
計画(素案)への意見					
1	不明	素案資料全般	<p>①今回の計画は、P1で記載している令和6年度までの取組状況を踏まえて計画目標に対する中間評価を行い、今後5年間の施策について検討し、本後期計画を策定したとされていますが、資料は、そのような形でまとめていないので、新たな新規計画資料的なまとめでなっています。今からでもまとめてください。</p> <p>②例えば、当初計画の前期までの成果(各取組内容の項目ごとに分かるようにすること)進捗状況、未達の場合の原因等)や課題等をまとめることが重要になりますので、その中身が後期計画をつくるための前提です。それをベースに後期計画の取組内容の項目ごとに具体的な施策の中身の明確化や目標時期等を分かるようにまとめてください。項目ごとに継続、新規等も分かるように。</p>	<p>ご意見のとおり、後期計画の策定にあたっては、現行計画の中間評価を行い、今後5年間の施策の検討を行ったものです。PDCAの考えのもと、現行下水道プランの前期期間における取組の進捗確認、評価を実施し、本プランにて取り組むべき課題、目標として反映しております。</p> <p>「3. 現状と課題」の文中にはこれまでの取組について触れるとともに、「6. 具体的施策」の内容の中で、これまでの取組状況や令和6年度実績を踏まえた令和7年度末での目標達成見込みを記載しています。</p> <p>なお、現行プラン策定時同様、現行プランの詳細な取組実績等については、本プランの公表と併せて、別途、市ホームページに掲載いたします。</p>	ご意見をいただき、別途反映いたします。
2	不明	P6 汚水整備事業の 説明文	当初計画では、令和6年度の人口規模や社会情勢を想定してとの記載でしたが本計画では、令和31年度(2049年度)になっていますが、その理由は？	<p>現行計画策定時は、本市の下水道事業における上位計画である「多摩川・荒川等流域下水道整備総合計画(東京都)」で、令和6年度末を目標年次とした計画人口や計画汚水量等が示されています。同計画の目標年次に至ったことにより、令和7年度に新たに目標年次を令和31年度とした計画が策定されました。</p> <p>本市においても、同計画に合わせ、目標年次を令和31年度とした下水道計画の全体像を示す全体計画の変更並びに目標年次を令和11年度とした当面の事業実施に係る事業内容、規模を定めた事業計画の変更を行ったことより、記載を変更したものです。</p>	ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。
3	不明	P7 日野市公共下水道(汚水)の計画概要	<p>①当初計画での令和6年度(計画目標年度)での数値は、どうなったのでしょうか？</p> <p>②また、本計画の計算値についての根拠、裏付け等のデータを教えてください。</p>	<p>①No.2に示したとおり、現行計画策定後に本市の下水道計画が変更となり、計画値が見直されています。現行計画で示した計画値は過去に設定されたものであり、実態に即していないことが課題でした。今回の上位計画の見直し及び本市の下水道計画見直しにより、最新の人口推計等に基づく、計画値へ更新されたことから、より実態に即した計画となったものと考えられます。</p> <p>②記載の計画値については、例えば、人口推計は東京都総務局における推計値、汚水量は一人当たりの給水実績から推定したものとなっています。</p>	ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。
4	不明	P8 日野市公共下水道(雨水)の計画概要	<p>①当初計画での令和6年度(計画目標年度)での数値は、どうなったのでしょうか？</p> <p>②また、本計画の計算値についての根拠、裏付け等のデータを教えてください。</p>	<p>①汚水計画と合わせ、目標年次は変更しておりますが、その他の記載内容に関する計画変更はございません。</p> <p>②計画値については、事業計画区域における市の雨水管の整備方針に基づき設定されております。</p>	ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミス及び個人が特定される恐れのある表現は修正しています。)	「市の考え方」	プランへの反映について
5	不明	P11~12 水環境の現状	①河川の説明文中で、当初計画で記載していた以下の内容を無くした理由は？ →引き続き、多摩川や浅川等で、アユ等の水生生物が住みやすく、水と親しむことができる良好な水環境を創出するため、さらなる水質改善が求められています。そこで、東京都と連携して、下水処理水に含まれる窒素やりんをより多く削減する高度処理の整備を進めていく必要があります。 ②湧水の説明分中で当初計画では、令和元年度の調査地点数133地点の内、湧水量を測定できたのは91地点とあり、本計画は、記載内容になっていますが、その結果何が、どうなんでしょうか？	①前段の文面では現状に係る部分を主に記載し、ご指摘の文言については後段の箱書き内の課題の一つとして記載する構成に変更しています。課題としてなくなったわけではございません。 ②こちらの記述は成果の報告ではなく、水環境の現状の報告となります。湧水の調査地点は、令和6年度では令和元年度に比べて増加しておりますが、令和6年度において新たに確認された新規湧水地点となります。湧水については、その年の雨量の状況により湧出状況が異なるものでありますので、測定できた地点数については、年により異なるものです。令和元年に対して令和6年は測定地点数が増えていますが、浅川の水量減少等からも、水環境保全・回復のためには雨水浸透の取組も重要と考えております。	①、②ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。
6	不明	P14 (2)雨水の地下浸透	①当初資料の説明文に、「また、浸透施設の機能を長く維持するには、適切かつ定期的な維持管理が不可欠です。そのため、市民や民間事業者等に定期的な清掃・点検に協力してもらう必要があります。」という記載がなくなっていますが、また、課題について、当初計画で課題としていなかった②「良好な水環境を創出するため、さらなる水質改善が求められています。そこで、東京都と連携して、下水処理水に含まれる窒素やりんをより多く削減する高度処理の整備を進めていく必要があります。」が本計画で追加された理由は？ ③さらに、当初計画で課題とした2項目の進捗の中身を具体的に教えてください。	①No.5の①と同様、現状部分と課題部分の書き分けということで、課題としての記載として構成を変更しています。 ②上記①と同様、現行計画では本文中に記載していましたが、課題の一項目として再整理しています。 ③取組の進捗については、No.1に示すとおりとします。雨水浸透施設については、令和7年度末における雨水浸透ます基数、浸透トレンチ延長を記載しています(令和元年度末に対し、雨水浸透ます19241基増、浸透トレンチ5832m増)。また、市民や民間事業者等による定期的な清掃・点検については協力をお願いに留まるものとなります。	①、②ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。 ③ご意見をいただき、別途反映いたします。
7	不明	P18 雨水管きよ整備の課題	当初計画と同様なのですが、当初計画の進捗の中身を具体的に教えてください。	取組の進捗については、No.1に示すとおりとします。 具体的には、雨水整備の優先度が高い地区を中心に浸水対策を推進すること、計画規模を上回る豪雨にも対応するため、令和6年度から令和7年度にかけて雨水管理総合計画を策定しました。 また、浸水を含めた下水道BCPに基づき、定期的(1回/年)に訓練を実施しています。 内水ハザードマップの作成に関しては、令和3年度の防水法改正により、想定しうる最大規模の降雨に対する内水浸水想定に基づき雨水出水浸水想定区域を指定することが必要となったことから、令和5年度より雨水出水浸水想定区域の指定に向けた取組を進め、令和8年2月に公表いたしました。内水ハザードマップの作成については、同公表が令和8年2月となったことを踏まえ、令和8年度以降に取り組む予定と目標の見直しを行いました。	ご意見をいただき、別途反映いたします。
8	不明	P20 地震対策の課題	本計画で、所々で説明文の追加がありますが、課題の3項目の内、2項目当初計画と同様であり、その進捗の中身を具体的に教えてください。また1項目の新規が分かるように。	取組の進捗については、No.1に示すとおりとします。 具体的には、マンホール型トイレについては、市内各所に配備を進め、また、下水道BCPの定着と職員の対応能力向上については、定期的(1回/年)に訓練を実施しています。 新規課題については、新規事項であることがわかるように現行計画策定以降に「下水道施設の耐震対策指針と解説」が改訂された旨を追記いたします。	ご意見をいただき、別途反映いたします。
9	不明	P27 維持管理の課題	当初計画と同様なのですが、当初計画の進捗の中身を具体的に教えてください。	取組の進捗については、No.1に示すとおりとします。 具体的には、点検・調査については、日野市下水道ストックマネジメント計画に基づき点検及び改築工事を実施しており、最近では、令和7年1月の埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受け、市内の大規模な下水道管を対象に緊急点検を実施しました。 雨天時浸入水に対しては、その原因について調査を実施するとともに、令和7年度においては次期の取組を検討した雨天時浸入水対策計画を策定いたしました。 維持管理のデジタル化については、今後、AIやGIS情報等のICT技術の活用も視野に入れ取り組んでいるところです。	ご意見をいただき、別途反映いたします。

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミス及び個人が特定される恐れのある表現は修正しています。)	「市の考え方」	プランへの反映について		
10	不明	P28 資源の循環利用の 課題	当初計画と同様なのですが、当初計画の進捗の中身を具体的に教えて下さい。	取組の進捗については、No.1に示すとおりとします。 具体的には、東京都の連携により焼却灰を利用した建設資材の利用等の資源利用を継続しております。	ご意見をいただき、別途反映いたします。		
11	不明	P35 下水道経営の課題	当初計画と各項目の表現文面の相違がありますが、当初計画の進捗の中身を具体的に教えて下さい。	取組の進捗については、No.1に示すとおりとします。 具体的には、令和3年度に策定した日野市下水道経営戦略に基づき、経営の健全化に取り組んでまいりました。毎年度の経営状況等は、市HPにて、下水道事業会計決算書及び下水道事業に係る経営比較分析表等にて公表しており、決算については市議会での審議・承認を受けています。 なお、令和7年度、経営戦略の見直しを図るとともに、将来推計に基づく下水道使用料及び財政計画の見直しも行っています。 広域化・共同化の推進にあたっては、前期計画期間内に東京都の広域化・共同化計画が策定されたことから、東京都及び関係機関等と連携し、同計画に基づく取組みを実施していくこととしています。	ご意見をいただき、別途反映いたします。		
12	不明	P36～38 課題のまとめ	当初計画と表現の変更もあり、新規の内容なのかを分かるようにしてください。	現行計画における課題については表現を変更しているものはありますが基本的に継続対応が必要なものと判断しています。新たな視点で追加した課題については、現行計画策定後の変化がわかるように表現を工夫いたします。	ご意見をいただき、反映いたします。		
13	不明	P39 図のH29新下水道ビジョン加速戦略(R4改訂)	当初計画からなくなった項目や新規追加項目について分かるようにして頂ければ有難いです、またその理由も簡単に記載頂ければ分かりやすいです。	新下水道ビジョン加速戦略(R4改訂)の記載箇所に、変更内容を追記します。 <div data-bbox="1418 1205 2142 1346" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">新下水道ビジョン加速戦略（令和4年度改訂版）の概要</p> <table border="0" style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流域治水関連法の施行(2021年)、地球温暖化対策推進法の改正(2022年)等法制度の変化 ・新型コロナウイルス感染症拡大への対応 ・肥料価格の高騰等を受けた下水汚泥資源の肥料利用の拡大方針 ・引続き人口減少や厳しい財政事情等への対応 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「脱炭素化の推進」「水環境管理」を重点項目に追加 ・旧重点項目IV「マネジメントサイクルの確立」にDX(デジタルトランスフォーメーション)を追加 ・旧重点項目VI「防災・減災の推進」において気候変動への対応を強化 </td> </tr> </table> </div>	<p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流域治水関連法の施行(2021年)、地球温暖化対策推進法の改正(2022年)等法制度の変化 ・新型コロナウイルス感染症拡大への対応 ・肥料価格の高騰等を受けた下水汚泥資源の肥料利用の拡大方針 ・引続き人口減少や厳しい財政事情等への対応 	<p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「脱炭素化の推進」「水環境管理」を重点項目に追加 ・旧重点項目IV「マネジメントサイクルの確立」にDX(デジタルトランスフォーメーション)を追加 ・旧重点項目VI「防災・減災の推進」において気候変動への対応を強化 	ご意見をいただき、反映いたします。
<p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流域治水関連法の施行(2021年)、地球温暖化対策推進法の改正(2022年)等法制度の変化 ・新型コロナウイルス感染症拡大への対応 ・肥料価格の高騰等を受けた下水汚泥資源の肥料利用の拡大方針 ・引続き人口減少や厳しい財政事情等への対応 	<p>ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「脱炭素化の推進」「水環境管理」を重点項目に追加 ・旧重点項目IV「マネジメントサイクルの確立」にDX(デジタルトランスフォーメーション)を追加 ・旧重点項目VI「防災・減災の推進」において気候変動への対応を強化 						
14	不明	P43 基本方針	「4. 健全な下水道経営」とありますが、以下を提案します。 →安定した下水道経営:快適な市民生活を支える下水道サービスを持続的に提供していくために、下水道施設を適正かつ合理的管理し、次世代に引き継ぐ健全な経営基盤を構築	今回、後期計画は前期計画の基本方針を継続するものとして、見直しは考えておりません。ご意見につきましては、貴重な意見として、次期計画策定時の参考とさせていただきます。	ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。		

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミス及び個人が特定される恐れのある表現は修正しています。)	「市の考え方」	プランへの反映について
15	不明	P44～46 基本方針の各施策の方向性	<p>①項目ごとに当初計画との差異(表現や追加部分等)を分かるようにしてください。例えば、P46下水道経営について当初計画で3項目が記載されていましたが、1項目は、そのまま、しかし他は、無くなったり、表現を変更していますので分かるようにしてください。また、何で変更したのかの理由をお伺いします。</p> <p>②さらに、本計画の人口減少や社会情勢などを踏まえて、適正な下水道使用料の金額を定期的に検証する必要があります。との内容は、これだけでは、値上げを前提にするようなプランは、二の次で、そうならないように最大限の経営努力や私からの要望ですが、現在の各種負担金のやり方、考え方等を抜本的に変革するために国、都、各自治体で今後の負担のあり方(特に国、都は支援のあり方等)を、時期(例えばR13年の次期経営計画立案まで)を決めて、その中身をまとめて頂くように要望します。</p>	<p>①②後述で現行計画からの一部見直しとして位置づけている「気候変動に対応した浸水対策の強化」、「災害対応能力の強化」、「下水道ストックマネジメント計画に基づく維持管理」については、各施策の方向性として新たな視点がわかるように記載を工夫し修正します。</p> <p>ご指摘の下水道経営に関する記載については、現行計画と同時期に経営戦略を策定以降、同経営戦略に基づき経営基盤の強化に努めてまいりました。しかし、今般の社会情勢や経営状況を踏まえ、経営戦略を見直すとともに、下水道使用料の改定を検討しております。</p> <p>今後も引き続き経営基盤の強化に努めますが、将来の社会情勢の変化等に併せた定期的な下水道使用料に対する検証は重要と考えていることから記載を変更しております。なお、下水道使用料の増額改定を前提とした検討を行うものではございません。</p> <p>また、ご意見いただいた負担のあり方、国や都の支援のあり方については、引き続き、情報収集、意見交換に努めてまいります。</p>	<p>①ご意見をいただき、反映いたします。</p> <p>②ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p>
16	不明	P48～49 具体的な施策の内容 污水处理について	<p>①当初計画での下水道処理人口普及率R7(中間年度)の取組目標97.1%に対し、結果は96.3%未達の原因、理由について、具体的に教えてください。(計画の中身に対し、どこが、どうだったとか?)</p> <p>②また、目標年度98.1%でそのままですが、土地区画整理事業での下水道工事計画の当初計画の中身は、どのような内容でその工事費も含めて確認します。同様に目標年度での中身も確認します。</p> <p>③さらに、当初計画には、表6-1土地区画整理事業の施工予定年度(令和2年度末現在)がありましたが、本計画にはなく、そのままというのは、事業費の積算部分も含めわかるように教えてください。</p>	<p>①未整備区域のほとんどは、土地区画整理事業地内となっています。土地区画整理事業地においては、将来道路形状の変更があるケースが多く、先に下水道を埋設すると、形状変更時に撤去かつ再埋設という二重投資となります。そのため、経済性を重視し、新しい道路築造時に併せて下水道を埋設しております。目標未達の要因としては、土地区画整理の進捗に影響を受けたことによるものです。</p> <p>②現行計画における目標の設定にあたっては、計画策定時点での土地区画整理事業の予定を加味したものです。今後の土地区画整理事業の進捗に対しては、社会情勢の変化が見通せない状況ではありますが、期間全体として当初計画での事業量を見込むものとして想定したものです。</p> <p>③今後の区画整理事業の進捗ペースは特に変更はせず、下水道の整備は、区画整理事業の進捗に併せて整備してまいります。昨今においては、区画整理事業の整備時期が当分先のエリアについては、区画整理事業の進捗を待たずに下水道が先行して整備できるかどうか検討しております。</p>	<p>①、②、③ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p>
17	不明	P50 下水道管きよ(汚水)への接続促進	<p>当初計画での水洗化率(資料は、接続率)は、中間年度(令和7年度)で98.7%に対して結果は98.0%未達の理由について、具体的に教えてください。(計画の中身に対し、どこが、どうだったとか?)</p>	<p>未接続世帯への接続のお願いを実施しているところですが、残る未接続世帯については高齢者世帯など、世帯ごとに事情があり接続が困難なケースも散見されます。</p> <p>概ね水洗化が進んでいる近年では、水洗化率の伸びが横ばい傾向にあります。</p> <p>なお、水洗化率に対しては、供用開始済み人口に対する割合であり、新規整備後の接続義務が3年以内であるため、土地区画整理地内での供用開始直後には土地の利用がすぐに行われないこともあり、見かけ上の水洗化率が低下することが要因として考えられます。</p>	<p>ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p>

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミス及び個人が特定される恐れのある表現は修正しています。)	「市の考え方」	プランへの反映について
18	不明	P52～53 水環境の保全	<p>①後期計画の取組内容の公共施設への浸透施設設置の内容で当初計画の学校や公園等の公共施設に対し、雨水浸透機能の確保に努めます。の方が適切？</p> <p>②また当初計画の第三日野市バリアフリー特定事業計画に基づき、「道路の透水性舗装への打替えを実施します。」が「歩道の透水性舗装への打替えを実施します。」になった理由について教えてください。</p> <p>③当初計画と取組内容は、同じようですが、当初計画期間(前期)での項目ごとの評価内容を明らかにすることが必要で本計画では、雨水浸透率は1,924基、雨水浸透トレンチは5,832m増加した結果のみを記載していますが、前述の施策の中身部分を明確にしてください。(PDCAの基本)</p> <p>④雨水浸透施設の普及促進 取組目標にしている宅地造成や一定規模以上の建築物の建築時における雨水浸透施設の普及促進という言葉のみですとダメで、その具体策及び成果目標を分かるようにすること。</p> <p>⑤図6-8雨水浸透施設設置規制区域が当初計画でありましたが、無くした理由は？</p>	<p>①ご意見を踏まえ、表現を修正します。</p> <p>②第三次バリアフリー特定事業に限らず実施することを想定し、記載を削除しました。また、具体的には、歩道部への透水性舗装への打替えを実施しており、表現を修正しました。</p> <p>③取組の進捗については、No.1に示すとおりとします。</p> <p>④宅地造成や一定規模以上の建築物の建築については、事業量の想定が難しく、定量評価値ではなく行為としての目標提示としています。後期計画では、前期計画の目標を踏襲しましたが、ご意見につきましては、貴重な意見として、次期計画策定時の参考とさせていただきます。</p> <p>⑤浸透施設設置規制区域については、現在見直し中であり、提示している情報が変更となる可能性があるため、不掲載としました。</p>	<p>①ご意見をいただき、反映いたしません。</p> <p>②ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p> <p>③ご意見をいただき、別途反映いたします。</p> <p>④、⑤ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p>
19	不明	P54～55 浸水対策の公共下水道 (雨水)の整備促進	<p>①当初計画の取組目標雨水管理総合計画の策定が令和6年度になっていましたが未達であった理由、原因等を教えてください。</p> <p>②取組目標の中間年度(R7)面整備率90.3%が90.1%で未達であった理由、原因等を教えてください。</p> <p>③また、目標年度(R12)の91.3%にした中身を具体的に教えてください。</p>	<p>①雨水管理総合計画については、令和6年度に着手し、令和7年度に策定しております。なお、雨水管理総合計画は、内水浸水想定結果(流出解析モデルを活用した浸水シミュレーション)を基にした浸水リスク評価を実施することから、内水浸水想定区域作成と併せて時間を要したことによります。</p> <p>②計画の変更はございませんが、目標未達の要因は、工事発注前の実施設計に時間を要したことによるものです。</p> <p>③目標年度の数値については、前期計画で設定を行っております。具体的に、令和6年度までの事業量は事業計画と整合を図り整備を行うこととし、令和7年度以降については、令和元年度から令和6年度までの整備計画を基に、面整備率の伸び率を0.2%/年として設定を行っております。参考値として、令和6年度に面整備率は90.1%です。</p>	<p>①、②、③ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p>
20	不明	P56～57 浸水対策の気候変動に 対応した浸水対策の強 化	<p>①取組内容のハード対策(雨水流出抑制施設の普及促進)内容は、当初計画と同様ですが、具体的な普及促進策に対する目標と成果を教えてください。</p> <p>②取組内容のハード対策(貯留施設設置の検討)内容は、当初計画と同様ですが、具体的な導入検討の中身に対する目標と成果を教えてください。</p> <p>③取組内容のソフト対策(内水ハザードマップの作成・公表)は、中間年度(R7)の目標であったのにできなかった理由と本計画では、その目標年度(R12)まで中期に先延ばしした理由等を具体的に明らかにしてください。</p>	<p>①宅地造成等においては、都度、浸透施設の設置指導を行っております。No.18④に示すとおり、宅地造成や一定規模以上の建築物の建築については、事業量の想定が難しく、定量評価値ではなく行為としての目標提示としています。</p> <p>②公共施設への貯留施設の設置について具体的には学校建替え時に関係部署と調整を実施してきました。なお、目標については、①同様、公共施設の建替えについての具体化が未定であるため、定量評価値ではなく行為としての目標提示としています。</p> <p>③国土交通省では、令和7年度末での雨水出水浸水想定区域の指定を目標として掲げており、同指定に向けて取り組んできました。雨水出水浸水想定区域の指定(公表)にあたり、市内部調整等に時間を要したことから、令和8年度以降の取組としたものです。今般、雨水出水浸水想定区域図を公表しましたので、水防法に基づき令和8年度より内水ハザードマップの作成に取り組んでまいります。</p>	<p>①、②、③ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p>

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミス及び個人が特定される恐れのある表現は修正しています。)	「市の考え方」	プランへの反映について
21	不明	P58 地震対策の災害対応能力の強化	<p>①取組内容の「下水道施設の耐震対策指針と解説」改訂に伴う「日野市上下水道耐震化計画」の見直しが追加されていますが、それ以外は、当初計画のままであり、分かるようにしてください。</p> <p>②当初計画には、図6-12訓練の計画・実施から下水道BCP見直しまでの流れの例が掲載されていましたがカットした理由は？</p> <p>③本計画には、ありませんが、下水道管きよ(汚水)の耐震化推進として耐震化済みマンホール基数についての整備の現状を教えてください。</p>	<p>①同ページの後期計画における取組の視点に、後期計画における取組内容として追加する旨の記載をしていることから修正しないこととします。</p> <p>②出典の下水道BCP策定マニュアル2019年版は、その後2022年度版が発刊されており、削除していましたが、2022年度版にも同図が掲載されているため、ご意見を踏まえて追加いたします。</p> <p>③耐震化済みマンホール基数は、令和7年度末時点で80基となっており、耐震化が必要とされる箇所は全て整備済みとなっております。</p>	<p>①ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p> <p>②ご意見をいただき、反映いたします。</p> <p>③ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p>
22	不明	P60 維持管理の下水道ストックマネジメント計画に基づく維持管理	<p>①取組内容の計画的な点検・調査での一般環境下による調査頻度と点検頻度が伸びている理由を教えてください。</p> <p>②取組内容の計画的な点検・調査でDXに関する項目の新規追加や民間活力の活用(W-PPPの導入)の新規追加についていつまでに何をするのか等を明確化してください。</p> <p>③管きよ調査実施率の当初計画での中間年度(R7)目標52%が88%と大幅な結果で達成とありますが、その理由等分かるようにしてください。また、当初計画での地域図場所に対してどこが増えたのかや残箇所も分かるようにしてください。</p> <p>④さらに、工事費用は、当初計画費用と88%の費用を教えてください。</p>	<p>①過去の点検結果により、当初の想定よりも管渠の劣化は進んでいなかったことから、調査・点検頻度を伸ばしております。</p> <p>②新規記載については、近年AI等のDX技術の発展が目覚ましく今後の検討視点としても重要と判断し追加したものです。また、W-PPPについては、現在のところ、令和9年度から導入可能性調査検討を実施し、令和12年度までの導入を目指しています。</p> <p>③調査の対象はコンクリート管としており、市内でも古くより市街化された地区が対象となっております。①の結果により調査・点検頻度が伸ばされ、総延長が少なくなったことにより実施率が伸びております。令和9年度までに市内全域の調査が完了する見込みです。</p> <p>④点検箇所は特に変わっていないため、当初計画費用と差異はございません。</p>	<p>①、②、③、④ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p>
23	不明	P62~63 維持管理の雨天時浸入水対策の推進	<p>①当初計画の説明文に追加部分(～この雨天時浸入水対策は～実施します。)を入れたことを分るようにしてください。また、その背景。</p> <p>②取組内容の当初計画に流量調査結果に基づいた雨天時浸入水対策の実施としてその一つで優先度を考慮した効率的な雨天時浸入水対策工事を実施します。</p> <p>③図6-14雨天時浸入水対策の優先度(浅川処理区)の出典がありましたが、今までどこまで完了しましたか？</p> <p>④さらに、各優先度ごとの事業規模を教えてください。</p> <p>⑤また、このような事業について事業者選定等経営コストの最小化に向けた選定は、どのようにしていますか？</p>	<p>①雨天時浸入水対策については、対策を行うためにはまず調査を行い、その発生源を特定する必要があります。この調査は、多くの箇所に水位計やカメラなどの機器を設置して雨天時の流量の大小を比較して検討することになり時間もかかることとなります。対策についても、一か所対策すれば効果がでるものでもなく長期的な視野のもと実施していく必要があることから、ストックマネジメント計画等と連動して計画的に実施していくこととしています。また、誤接続については、市民の皆様のご協力が必要なことと、雨天時浸入水を完全になくすことはできないことから、雨天時における生活排水の抑制など、市民の皆様にもご協力いただきたく、今回は加筆させていただいております。</p> <p>②③取組の進捗については、No.1に示すとおりとします。なお、浅川処理区の対策については、日野第一旭が丘&浅川右岸処理分区分で調査に着手しており、相当数の誤接続家屋確認しています。対策は、住民の皆様のご協力も得ながら進めてまいります。</p> <p>④⑤事業規模については、令和4年度から着手し、年間約3,500万円の調査費となっております。近年、低コストな調査手法等も開発されていることから、最新の技術動向も踏まえてコスト縮減に取り組むとともに、業者選定にあたっては、入札制度の適切な運用により引き続きコスト縮減に努めてまいります。</p>	<p>①ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p> <p>②、③ご意見をいただき、別途反映いたします。</p> <p>④、⑤ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p>
24	不明	P63~65 維持管理のデジタル化推進	<p>①当初計画の冒頭説明文と同様ですが、DX(デジタルトランスフォーメーション)とはの記載がなくなった理由は？</p> <p>②当初計画の取組内容と同様ですが、成果の中身を各項目ごとに分るようにしてください。そのような評価で本計画もそのまま継続になっていて中間年度(R7)達成にしていることもはなはだ可笑的。</p>	<p>①DXの語句説明については、最初に語句が記載されているP26にて記載しています。</p> <p>②取組の進捗については、No.1に示すとおりとします。現行プランの中間年度の目標については検討していましたが、前期期間では下水道台帳のWeb閲覧について検討、実施いたしました。その他の取組については、樋管の水位監視カメラ、開閉の遠隔操作化となります。ご意見を踏まえて、目標の達成状況は、一部達成と変更いたします。</p>	<p>①ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません。</p> <p>②ご意見をいただき、反映いたします。</p>

項番	年代	素案該当項目 《該当ページ》	意見及びその概要 (原文のまま・ただし、明らかな誤字脱字や入力ミス及び個人が特定される恐れのある表現は修正しています。)	「市の考え方」	プランへの反映について
25	不明	P66～67 資源の循環利用の下水道資源の有効利用	<p>①当初計画の冒頭説明文や取組内容が全て同様ですが、成果の中身を各項目ごと分るようにしてください。また、単に東京都との連携だけでは、日野市としての取組の中身を明確に分るようにしてください。そのうえで本計画も何をやるのか？その具体的な目標を分るようにしてください。</p> <p>②下水道資源の有効利用の取組について都との連携は分かれますが、そのような取組を行うことで東京都の負担金が増額でなく、減額への対策になれば日野市としては、効果が大きいし、市民の利用料金の減額になるような事業運営をお願いします。</p>	<p>①取組の進捗については、No.1に示すとおりとします。昨今の工事においては、焼却灰を利用したマンホール等を使用しています、本市は流域関連公共下水道であり、処理場を有していないことから、下水道資源の活用にあたっては、処理場を管理している東京都との連携によることとなります。したがって、東京都が有する処理場から発生した再生材を利用することで資源の有効利用に寄与しています。</p> <p>②引き続き、東京都と連携し、コスト削減にも積極的に努めてまいります。</p>	①、②ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません
26	不明	P67～68 魅力の発信の情報発信の充実	<p>①当初計画の冒頭説明文や取組内容が全て同様ですが、施策の成果が目的の達成の効果がどうか？ある程度見える化できる計画にしてください。</p> <p>②例えば、単に配布したり、イベントをしたり、参加したりだけでなく工夫が重要。</p>	①②今回、後期計画は前期計画の取組を継続するものとして、見直しは考えておりません。ご意見につきましては、貴重な意見として、次期計画策定時の参考とさせていただきます。	①、②ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません
27	不明	P69～70 下水道経営の経営戦略に基づく事業運営	<p>①当初計画と一点大きく相違する項目として取組内容の経営戦略に基づく事業運営で掲げた4点の内の以下の部分「経営戦略の検証・見直しと合わせ、5年に1回の頻度で、下水道使用料改訂の必要性に関する検証を行います。」としていましたが、本計画では、「経営戦略の検証・見直しと合わせ、5年に1回の頻度で、適正な下水道使用料の金額の検討を行います。」とした意図をお伺いします。</p> <p>②また、適正な下水道使用料とは、何を言っていますか？</p> <p>③経営戦略で市民への値上げを検討することを言う戦略は、二の次でその前に事業としてやるべき中身は、沢山あり、近い将来に向けて、国、東京都、多摩の自治体と連携して現在の負担金のあり方、国、都の支援のあり方、事業経営改革による効率化等を徹底してください。</p> <p>④前回も言いましたが、市民の使用料だけの収入から自ら稼ぐ経営も考えましょう。</p>	<p>①②表現の変更であり、下水道使用料の増額改定を前提としたものではございません。社会情勢や物価変動等を踏まえてその時点での必要な使用料収入の把握を都度行うことは重要と考えております。そのうえで、改定の必要性について判断していくものです。なお、「適正な」とは、将来にわたり下水道経営が成り立つ経費回収率100%超を意味しています。</p> <p>③ご意見のとおり、下水道使用料の改定だけでなく経費削減の取組も重要と考えております。最近の気候変動や施設老朽化への対策など、必要な事業は多くありますが、経営戦略の財政計画も踏まえ、先を見通した事業運営を行ってまいります。また、ご意見いただいた負担のあり方、国や都の支援のあり方については、引き続き、情報収集、意見交換に努めてまいります。</p> <p>④ご意見につきましては、貴重な意見として、先進事例も収集しながら、次期計画策定時の参考とさせていただきます。</p>	①、②、③、④ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません
28	不明	P70～71 下水道経営の広域化・共同化の検討	<p>①当初計画と進んだのは、東京都の汚水処理に関する広域化・共同化計画が策定されてその中の資料での広域化。共同化メニューの検討としていますが、いつまでに、何を検討し、実施できるのかその中身をお伺いします。</p> <p>②また、現在多摩26市の下水道使用料料金体系は、各市ごとで幅があり、近い将来のためにもその部分も含め、市民の皆さんの使用料負担が大きくなるようにすることの検討もしてください。</p>	<p>①取組の進捗については、No.1に示すとおりとします。具体的には、東京都広域化共同化計画に基づき、本市では雨天時浸入水調査等を実施し、その対策について、市町村間で共有を図っております。</p> <p>②各市の下水道使用料金は、各市の事情により異なるものです。下水道使用料の適正化にあたっては、市でも業務効率化に努めるとともに東京都及び流域下水道関連市との連携により流域下水道に係るコスト削減にも努めてまいります。</p>	①ご意見をいただき、別途反映いたします。 ②ご意見を参考にさせていただき、プランの変更は行いません